

4月には植樹祭をしましょう

——山元町花釜区民集会開かれる(3/31)

3月31日、朝から小雪がちらつく寒い日でしたが、午前10時から中央公民館でひらかれた花釜区民集会には、住民およそ100人が参加。熱心な話し合いが行われました。

花釜区は22ある山元町の行政区の中でも、4～5番目に位置する大きな区ですが、津波で壊滅的な被害を受けました。震災時1023あった世帯数は現在は736(1/31現在)。それらの世帯がおよそ3分の1ずつ、仮設住宅、町外みなし仮設、自宅とに分散しています。

昨年夏の盆踊りは非常に好評で、今年も取り組むこと確認するとともに、秋には例大祭を、4月29日には、神社植樹祭などを行うことも決めました。



花釜区の景色 (左の方に普門寺が見えています 3/31 撮影)

「誰に断わって危険区域に指定したのか」と区長にくつつかかる場面もありましたが、みな必死に生活再建に取り組んでいる姿が映し出された会合であり、最後は共に頑張っ行ってこうと、全体の拍手で確認し、集会を終えました。



1人歩きまでもう一押しの支援を
3月30日、日本医療福祉生協連の高橋泰行会長理事が山元町を訪れ、被災地見学を激励をする高橋会長理事(右から2人目)した後、みやぎ県南医療生協の職場、地域の組合員らを激励、懇談を行いました。

山元町の組合員からは、「大きな支援をいただき、やっとヨチヨチ歩きが出来るところまで来た。一人歩きできるまで、もう一押し

みんなの図書館運営委員会が開かれました



3月10日にオープンした山元町のみんなの図書館運営委員会が30日ひらかれ、住民11人が参加し、

鍵の開け閉め、掃除などの当番などについて相談しました。また、医療生協の地域支援の取り組みなどにも、敷地、建物ともぜひ活用してくださいとのありがたい申し出もありました。